

高齢者交通安全にゅーす

平成30年上半期における高齢者が関係する人身交通事故(重傷以上)件数は

- 死亡事故件数 17件
- 重傷事故件数 137件

となっています。

ほぼ毎日、重大交通事故が起きています。



次のような交通事故に気をつけましょう。

高齢者が起こしやすい交通事故の主な特徴

【四輪車運転の場合】

- 対向車線へはみ出し、対向車と正面衝突
- 交差点右折中、直進のバイクと衝突
- 交差点右折中、横断歩道上の歩行者と衝突
- 道路横断中の歩行者と衝突

【二輪車運転の場合】

- 交差点中央に寄らず、道路左端から右折して後続車両と衝突
- 信号交差点を直進中、対向右折車両と衝突
- 道路端の縁石などに衝突する自損交通事故

【自転車運転の場合】

- 一時停止無視で交差点に進入し車と衝突

【歩行中の場合】

- 横断歩道を横断中に車両と衝突
- 横断歩道がない道路を横断中に車両と衝突

～交通事故ゼロ指南書～

【指南書を守り、交通事故防止に努めること】

- 1 横断歩道の安全確認を徹底し、歩行者に注意するべし。
- 2 四輪車から見えにくい二輪車の動きに注意するべし。
- 3 交差点では自転車の飛び出しに注意するべし。
- 4 一時停止場所ではしっかりと止まって安全確認をするべし。
- 5 歩行中は車の動きに注意するべし。

目指せ交通マナー日本一
～ゆずる・とまる・まもる～
岡山県警察